

2023年2月12日(日)第二主日礼拝

ヨハネの福音書6章16～21節

『嵐の中で問われる信仰』

序論:

- ①ヨハネにとっての「昔取った杵柄」はなんでしたか。
- ②ガリラヤ湖の特徴は何ですか。

本論:

1. 主はどんな時も見守っておられる

- ①人々はイエスさまをどうしようと思っていましたか。
- ②この時のガリラヤ湖の嵐はどういうものでしたか。
- ③イエスさまは嵐の中でもがき苦しんでいる私たちをどのように見ておられますか。

2. 主は最善の時に助けに来られる

- ①弟子たちは嵐(向かい風)の中をどのくらい漕ぎあぐねていましたか。
- ②イエスさまはこの大変な時に何をしておられたのですか。
- ③イエスさまはどのようにしてすぐに弟子たちを助けに行かなかったのですか。

3. 主は私たちが目的地に導かれる

- ①弟子たちは、どうして湖上を歩いてきたイエスさまを恐れたのですか。
- ②「わたした」とは、どういう意味の言葉ですか。
- ③この時の経験は弟子たちにどんなことを教えましたか。

まとめ:

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。